

介護部会 県西ブロック会議 報告書

実施日 平成30年 9月 20日(木) 14:00~16:00

会議実施会場 介護老人保健施設 リバーアイースト

参加人数 7施設 10名 参加

議事項目 利用者の肺炎予防について

内容

利用者の肺炎予防について

A施設: 利用者の肺炎発症を防ぐため、経口維持加算の算定をもとに他種職で嚥下機能のアセスメント、評価、を行っている。また昼食前に口腔体操を実施している。利用者個別に食前に口腔マッサージのを行い嚥下能力の促進を図っている。口腔ケアで使用する物品の見直しを行い、利用者に適した口腔ケアができるようにしている。

B施設: 食支援研修を行っている。トロミの付け方や嚥下機能の理解等を職員に教育し食事介助のレベルアップを図っている。STを導入し、嚥下能力の評価や検討を行っている。また食事場面だけでなく、入浴時のシャワーのお湯が口腔内へ入り込むの防ぐように注意している。医療職と協力し適切な食事支援ができるようにしている。

C施設: 昼食前に口腔体操を行っているが、朝夕食時にも実施できるように取り組んでいる。勉強会を通し、口腔ケアの質の向上を促している。

トロミ剤の分量がしっかりと誰でもわかるようにしている。特に咽やすい方、口腔内に汚れがたまりやすい方へは食前の口腔ケアの実施をしている。

利用者へ毎朝起床後にうがいを促している。

D施設: 口腔衛生管理体制加算の算定をもとに歯科衛生士が口腔ケアの指導を行っている。最近STを導入し、専門的な判断から食事の評価を行っている。咽るから食事変更をするのではなく、変更前にSTの専門的な改善意見を取り入れることができるようになっている。

キザミ食からのむせ込みがみられているため、ソフト食の導入を検討している。

E施設: 経口維持加算の導入と口腔衛生管理体制加算の導入を行っている。週1回の専門職のカンファレンスやPTからのポジショニング指導、STからの勉強会等を実施している。変更ケア内容の職員への周知徹底がうまくいかずケアプランへの反映などケアマネと協力している。

F施設：歯科衛生士が訪問し、介護職員が必ず複数名付き添い助言を受けられるようにしている。業務用の大型除菌器を導入、加湿器も大型のものをフロア設置し、風邪等の予防から肺炎予防につなげている。

トロミ量が統一できるようにすることとトロミ量の変更も他種職交え検討している。

G施設：訪問歯科の導入。事前に口腔ケアに課題のある方をピックアップし、適切な口腔ケア方法が教わるようしている。

トロミの強くつけすぎることにも注意をし、咽やすい方へはお茶のゼリーを使用している。昼と夕食前に口腔ケア体操を実施している。

介助量の少ない方へも仕上げ磨きの徹底をしている。食事場面におけるポジショニングの適正化を図っている。

フリートーク

ショートステイ利用の方が、利用に直前に体調不良を訴えていた際、どうしているか？

感染症拡大を防ぐため、時期により37.5℃以上の熱があった際はお断りする場合があるといった意見が多く聞かれた。

連絡事項

今後介護部会関係の案内をFAXで送付する際に宛名を担当者ではなく、施設宛に個人名で送付していく予定です。

次回開催 平成30年12月13日(木)14:00～16:00

開催施設 悠久

議題「感染症対策について」

し
内

5。
1

し

、

5